

個人投資家の皆様へ 会社説明会

2014年11月

証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

【目次】

第1部	当社の概要	P2～P7
第2部	当社の強み	P8～P12
第3部	事業の特徴	P13～P22
第4部	業績の見通し 配当方針・株主優待	P23～P26
第5部	中期経営計画	P27～P34
第6部	関連用語集・資料	P37～P39

第1部：当社の概要

2

1. 社名の由来

ラサ商事株式会社

- 沖縄県に属する「沖大東島」の通称「**ラサ島**」に由来
- このラサ島でリン鉱石を採掘したのが、ラサ工業(株)

当社設立(1939年)～

【設立当初】

- ラサ工業(株) (東証1部、証券コード4022) の営業部門を分離独立して設立

【現在】

- 現在は**独立系商社**として発展
- ラサ工業(株)とは、建設機械等において良好な取引関係を継続

「ラサ島」(周囲約4.5km)



(「ラサ」はラテン語系で「平ら」を意味する)

3

2. ラサ商事の直近10年間の動向

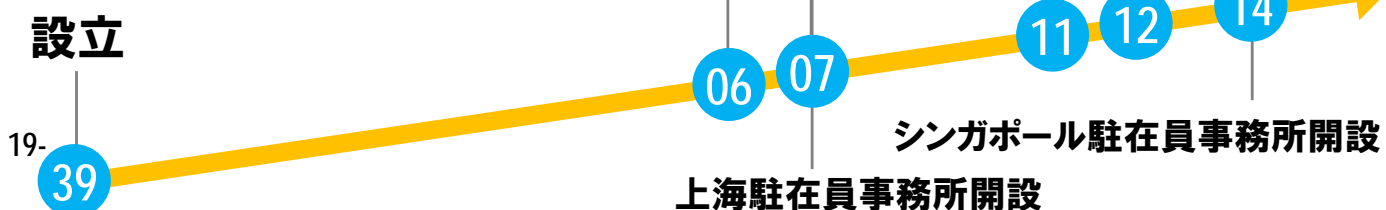
今年創業75周年

イズミ株式会社を子会社化

自社ビルを建設し、本社を移転
(東京都中央区日本橋蛸殻町)

東京証券取引所市場第一部に上場

東京証券取引所市場第二部に上場

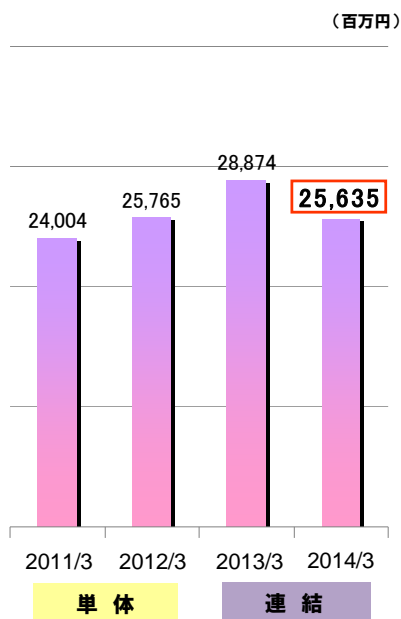


3. 事業の変遷 <事業拡大の推移>

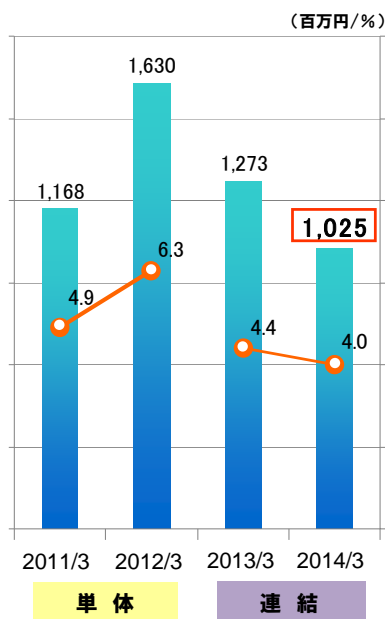


4. 業績の推移

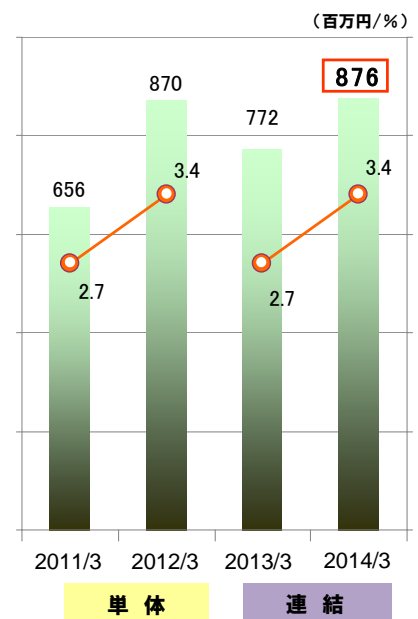
売上高



営業利益 売上高営業利益率



当期純利益 売上高当期純利益率



6

5. 2014年3月期の実績

(単位:百万円・%)

	前期 (2013.3)		当期 (2014.3実績)		対比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	28,874	100	25,635	100	▲3,239	▲11.2
資源・金属素材関連	10,655	36.9	8,603	33.5	▲2,052	▲19.2
産機・建機関連	7,263	25.2	7,829	30.5	566	7.9
環境設備関連	1,478	5.1	1,285	5.0	▲193	▲13.0
化成品関連	9,334	32.3	7,755	30.2	▲1,579	▲16.9
不動産賃貸関連	142	0.5	161	0.6	21	14.7
売上総利益	4,476	15.5	4,107	16.0	▲369	▲8.3
販売費及び一般管理費	3,202	11.1	3,081	12.0	▲121	▲3.8
営業利益	1,273	4.4	1,025	4.0	▲248	▲19.5
営業外収支	73	0.3	123	0.5	50	69.3
経常利益	1,346	4.7	1,149	4.5	▲197	▲14.7
特別利益	14	0.0	245	1.0	230	1600.0
特別損失	27	0.1	82	0.3	55	201.7
税引前当期利益	1,333	4.6	1,311	5.1	▲22	▲1.7
当期純利益	772	2.7	876	3.4	104	13.5
1株当期純利益(円)	68.06		77.23		9.17	13.5
1株当り配当金(円)	15		15		0	0
配当性向(%)	22.0		19.4		▲2.6	▲11.8

7



第2部：当社の強み

8

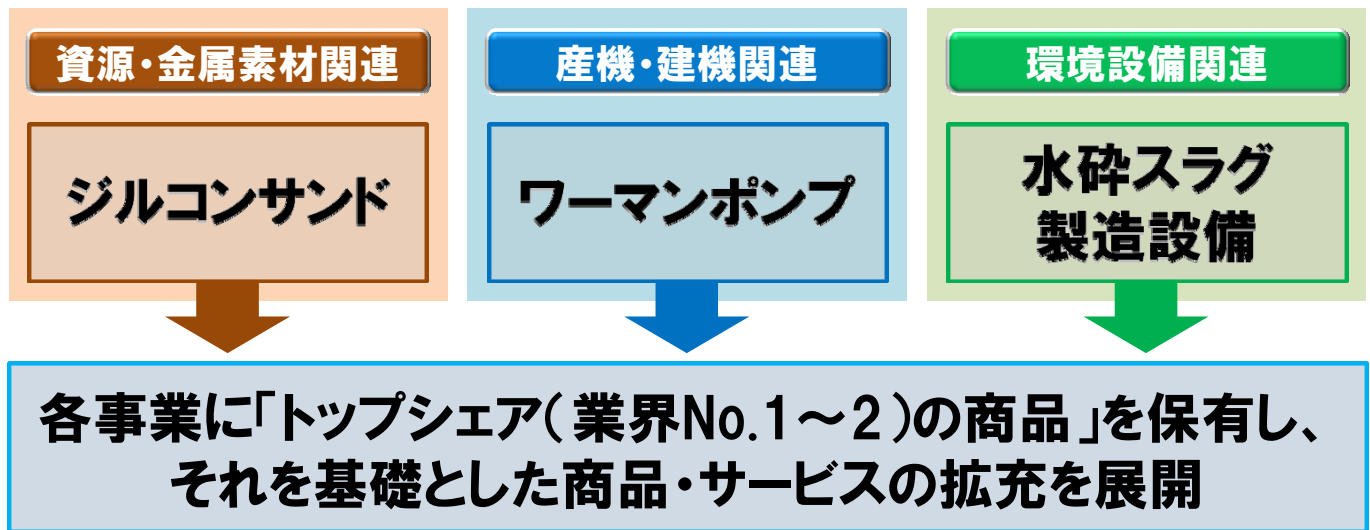


1. 当社グループの強み

- ① ニッチ市場における“トップシェア”を構築
- ② 「商社の枠組み」を超えた技術・ノウハウ
- ③ 財務の高い健全性を確保

9

2. 強み① ニッチ市場における“トップシェア”を構築



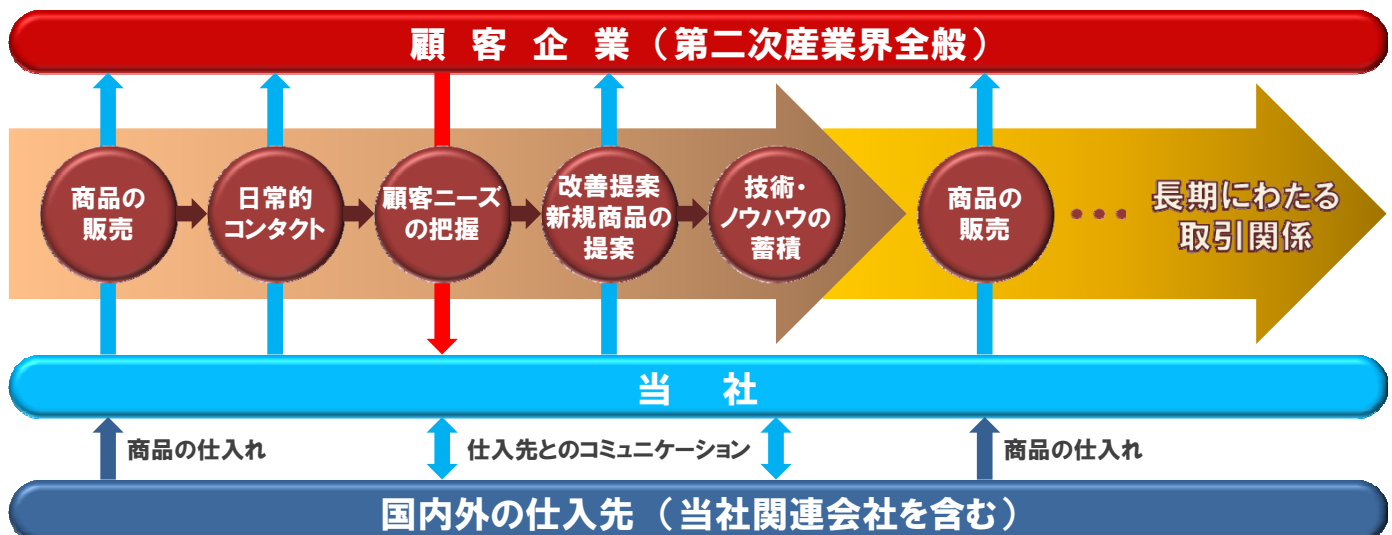
収益の安定性

10

2. 強み② 「商社の枠組み」を越えた機能・ノウハウ

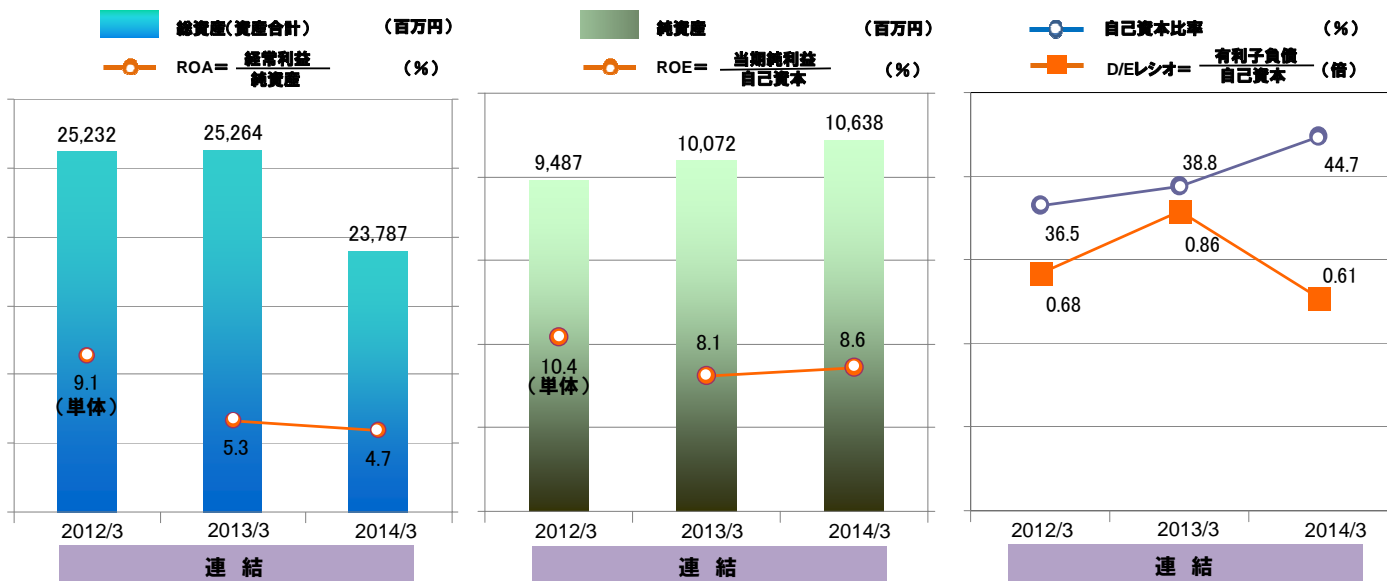
提案型営業力

“非”汎用品を中心とした商品展開による提案型の営業活動



11

2. 強み③ 財務の高い健全性を確保



将来の成長に向けた設備投資やM&Aなどを
適時的確に実施していくことができる盤石の財務基盤

第3部：事業の特徴

1. 資源・金属素材関連事業の特徴

① ジルコンサンド 国内No.1サプライヤー



▲鉱山(オーストラリア)



▲結晶(拡大写真)

- ジルコンサンドの産地
オーストラリアと南アフリカが2大生産地
→生産量世界第1位のアイルカ社
(オーストラリア)との間で、
国内における総販売代理店契約
- 国内販売シェア50%超



1. 資源・金属素材関連事業の特徴

② 年間売上10億円規模の新商材が順調に育成

2008年～

10億円新商材
育成プロジェクト

を展開

金属シリコン

2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
9億円	12億円	17億円	21億円

- アルミ二次合金メーカー向(自動車用等)
- 太陽電池ウェハー用途向など

輸入原料

(アルミナ系原料・黒鉛など)

2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
9億円	12億円	9億円	13億円

- 特徴: 多品種小ロット
- リチウムイオン電池向... 球状黒鉛
- 高級耐火材原料向... 仮焼アルミナなど

2. 産機・建機関連事業の特徴

① 国内シェアNo.1を争う「スラリーポンプ」分野を構築

* スラリーポンプ: 固形物が混ざった液体を送ることができる高耐性の特殊ポンプ



ワーマンポンプ



ヒドロスタルポンプ



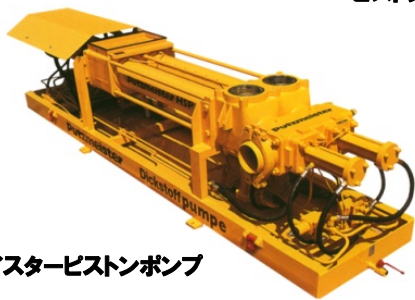
フェルバダイヤモンドフレームポンプ
ピストンポンプ



緊急可搬式エンジンポンプ
(BCP対応)



ヒドロスタル水中ポンプ
(BCP対応)



プッツマイスターピストンポンプ



URACA高圧プランジャーポンプ

2. 産機・建機関連事業の特徴

② ワーマンポンプ

メンテナンス性に優れ、耐食・耐磨耗ポンプで業界トップクラス



ワーマンポンプ



材質の交換により
様々な液体に対応

化学・電力・製鉄など
あらゆる産業で活躍

■ 主な納入実績

S製鉄	約1,000台
S金属鉱山	約1,000台
J製鉄	約500台
T社(電機)	約500台

2. 産機・建機関連事業の特徴

③ 全国をカバーする技術サポート体制を構築

ラサ商事

本社・支店・営業所：10拠点

機械センター：5拠点



全国の
施工・メンテ専門の
協力会社

長年にわたる強固な信頼関係に基づく協力体制のもと
全国のお客様に対して確かな技術サポートを提供
(=当社の技術ソリューション提供力の基盤)

3. 環境設備関連事業の特徴

① 「水砕スラグ製造設備」のパイオニア

1967年に世界で初めて水砕スラグ製造設備のクローズド・システムを開発



● 製鉄所に必要不可欠な環境保全技術

【装置の概要】

銑鉄生産時に高炉から発生する副産物である熔融スラグを最適処理し、再利用を可能にする技術

● 生成されたスラグは、主にセメント業界で再利用

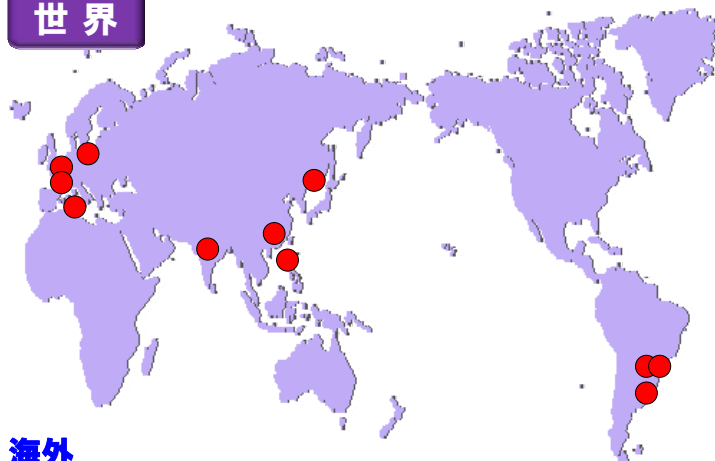
3. 環境設備関連事業の特徴

2

業界随一の豊富な経験と実績

●「ラサ・システム」を導入している製鉄所・・・全世界で約80基を納入

世界



海外
英国のシーメンスPLC社とライセンス契約

日本



4. 化成品関連事業の特徴

合成樹脂・化成品の専門商社イズミ(株)が担う事業

主な取扱品目

- プラスチック
(合成樹脂、樹脂添加剤)
- シート・フィルム・テープ
(各種樹脂フィルム、金属箔、ほか)
- 各種加工製品
(押出製品、射出製品、ほか)
- 油脂・ケミカル
(ケミカル、その他化学品)

供給

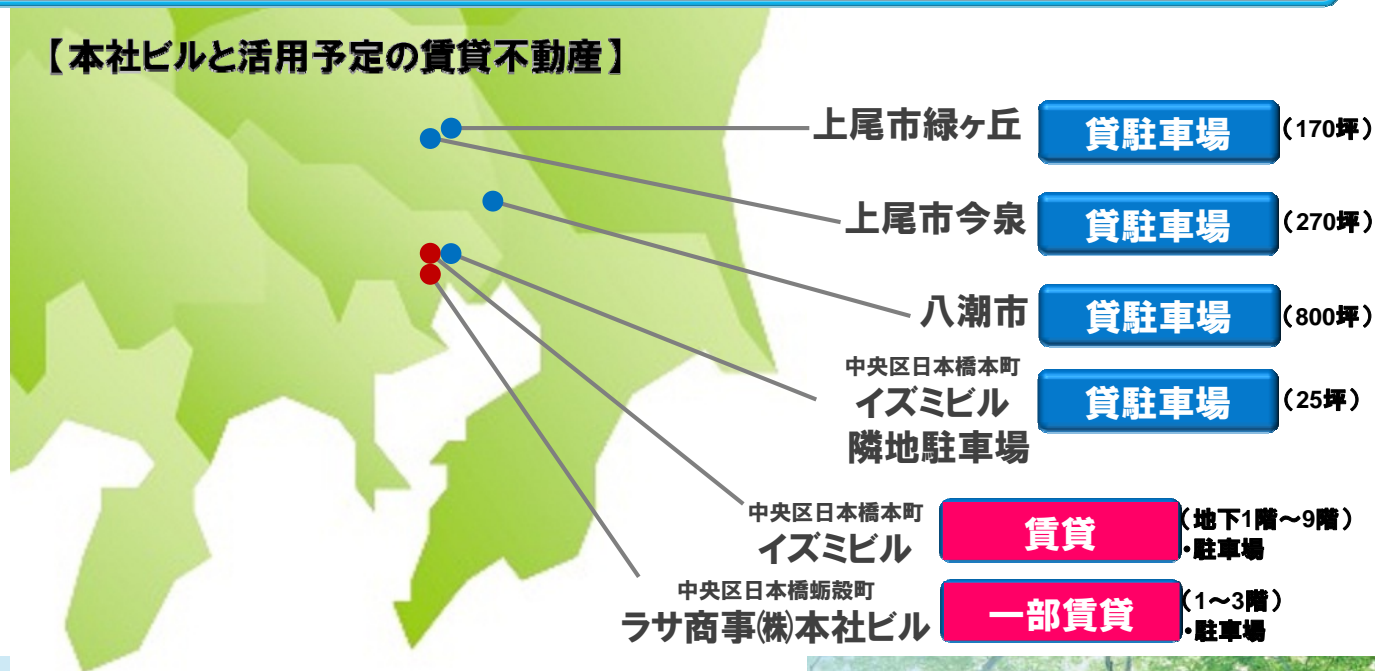
自動車分野
建材分野
電気・電子分野
など



5. 不動産賃貸関連事業の特徴

賃貸不動産を運用する事業部門を設け、収益に貢献

【本社ビルと活用予定の賃貸不動産】



22

第4部：業績の見通し 配当方針・株主優待

23

1. 業績見通し（連結）

●2015年3月期予想

売上高は増加するも、販管費増加の見込みで減益見通し。（単位:百万円・%）

	2014年3月期 実績	2015年3月期 予想	増 減	増減率
売上高	25,635	27,000	1,365	5.3
資源・金属素材関連	8,603	10,320	1,717	20.0
産機・建機関連	7,829	7,610	▲219	▲2.8
環境設備関連	1,285	1,500	215	16.7
化成品関連	7,755	7,380	▲375	▲4.8
不動産賃貸関連	161	190	29	18.0
売上総利益	4,107	4,230	123	3.0
販売費及び一般管理費	3,081	3,230	149	4.8
営業利益	1,025	1,000	▲25	▲2.5
経常利益	1,149	1,100	▲49	▲4.3
当期純利益	876	660	▲216	▲24.7
1株当り当期純利益(円)	77.23	57.65	▲19.58	▲25.4

24

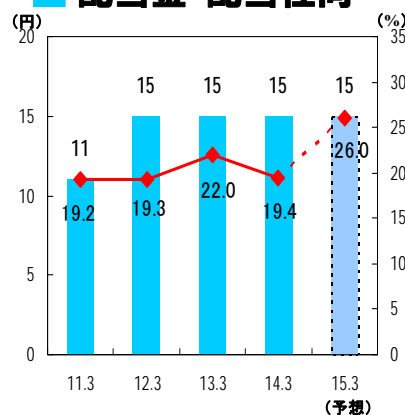
2. 配当

- 2014.3月期実績 15円
 【中間】 7.5円 【期末】7.5円
- 2015.3月期予想 15円
 【中間】 7.5円 【期末】7.5円

● 配当方針

- 安定配当を行なうこと
 - 配当性向20%前後を維持すること
- 【2014.3月期実績】 19.4%
【2015.3月期予想】 26.0%

■ 配当金・配当性向



25

3. 株主優待

対象株主

- 毎年3月31日現在の100株以上保有の株主

内 容

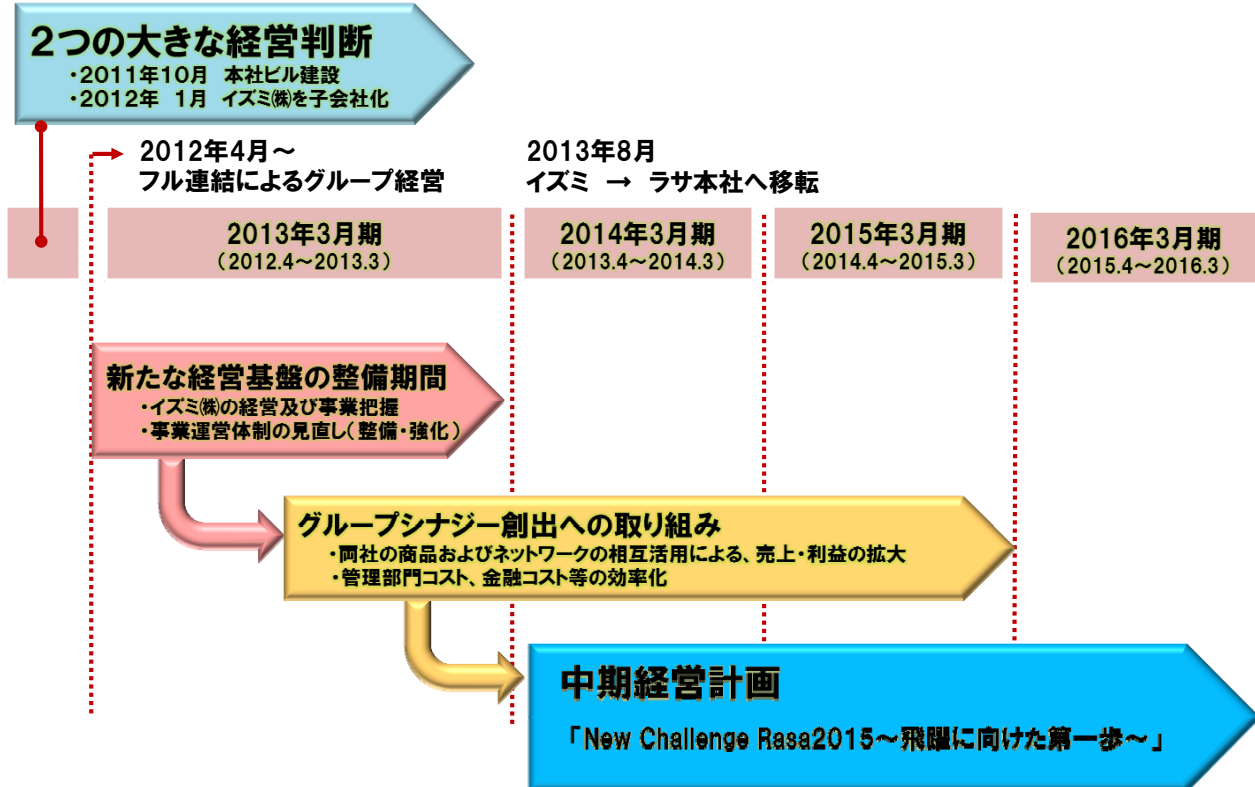
- 保有期間1年以上：
1,000円相当のオリジナルQUOカード
- 保有期間1年未満：
500円相当のオリジナルQUOカード
- 公益財団法人「緑の地球防衛基金」への寄付
(株主様1人当たり 50円)
- 認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを
日本委員会(JCV)」への寄付
(株主様1人当たり 60円)



<特徴>
優待制度に社会貢献が
組み込まれている

第5部：中期経営計画

1. 中期経営計画について



2. 中期経営計画の初年度実績

● 経営指標

- ① 総資産経常利益率 (ROA) は10%以上
- ② 自己資本比率は50%以上
- ③ 自己資本当期純利益率 (ROE) は12%以上

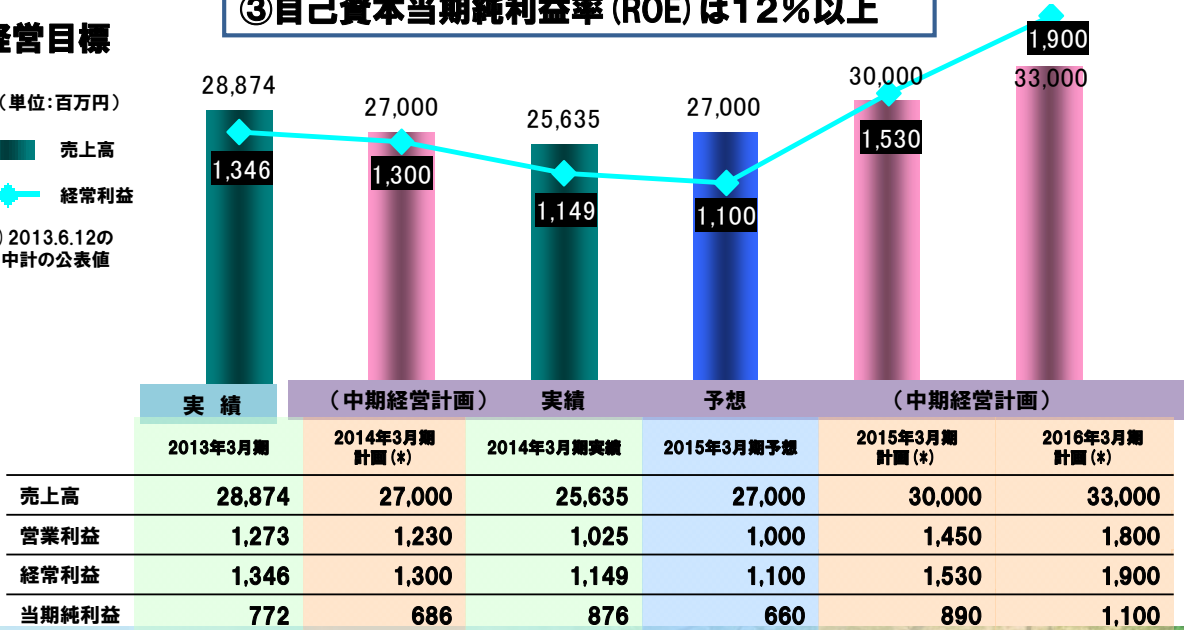
● 経営目標

(単位:百万円)

■ 売上高

◆ 経常利益

(*) 2013.6.12の中計の公表値

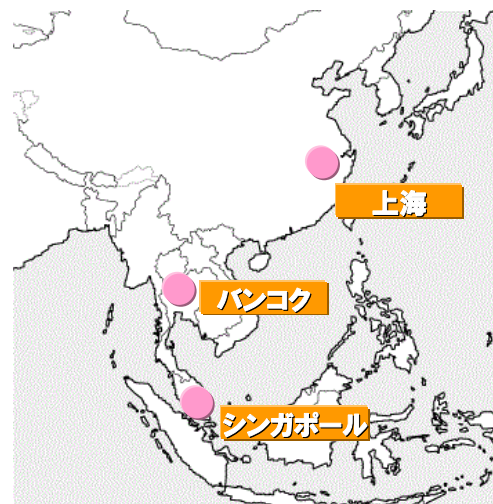


3. 中期経営計画における海外戦略

● アジア地域へのビジネス拡大

**2014年4月
シンガポール事務所開設**

既存の上海事務所、バンコクオフィス
(イズミ(株))を併せて3拠点体制。



■インドネシア、ベトナム、インド等、アジア圏でのビジネス拡大を目指す。

■資源ビジネス、シールド掘進機等々の販売の拡大

30

4. 成長戦略 ①資源・金属素材関連

★ 既存事業の深堀りと事業進化

- ジルコンサンド製品の多様化
- 輸入原料の高付加価値化

★ 成長分野への注力と新市場の創造

- 用途開発、新規商品の開拓、新ビジネスの開発(海外事業開発部を新設)
- 中国、東南アジア諸国、インドの市場拡大(シンガポール事務所を開設)



▲ジルコンサンド



▲金属シリコン



▲鱗状黒鉛

31

4. 成長戦略 ②産機・建機関連

★ 既存事業の深掘りと事業進化

- 更新需要の喚起とメンテナンスサービス体制の一層の充実

★ 成長分野への注力と新市場の創造

- 石炭火力発電関連分野へ注力 機械事業開発部を新設
- 下水道BCP(津波、高潮、豪雨)対応の汚泥ポンプの開発等
- 機能性材製造業向に注力
- バイオマス、バイオガス分野への注力

■ 今後の展開

- CCT (Clean Coal Technology) 【クリーンコールテクノロジー】
石炭を燃やしたときに発生する二酸化炭素・硫黄酸化物・窒素酸化物などの有害物質を減少させる技術
- 機能性材料
材料の種類を大きく二つに分けると、その強度を利用する構造的な材料と機能を利用する機能性材料に分けることができます。前者は建物や乗物その他を構築する上で必要であり、後者は触媒、センサー、エネルギー変換等で必要とされます。



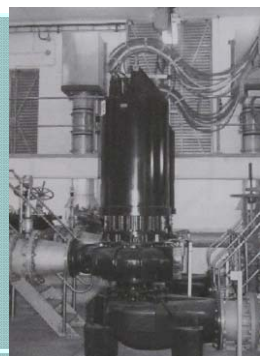
▲ワーマンポンプ

4. 成長戦略 ②産機・建機関連

下水道施設のBCP対策 (ゲリラ豪雨・高潮・津波などの水害対策)

据置型ポンプ

水没しても
運転可能な
水中ポンプ

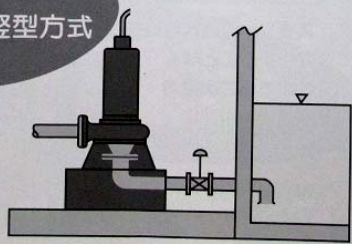


可搬式ポンプ (緊急時運搬可能)

近々日本に到着
デモンストレーション
を予定



槽外型方式



4. 成長戦略 ③環境設備関連

★ 既存事業の深堀りと事業進化

- 既存ラサ・システム導入先に対する提案・販売の積極化
(自動運転、省エネ運転、ランニングコスト低減商品など)

★ 成長分野への注力と新市場の創造

- 石炭ガス複合発電(IGCC・IGFC)スラグ処理へのラサ・システムの販売
- 非鉄製錬ユーザーに対するラサ・システムの販売

■ 今後の展開

● 水砕スラグ製造設備

製鉄所の高炉の付帯設備。

製鉄業界では「ラサシステム」として世界的に知られている。

製鉄造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」をセメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所において不可欠な設備となっている。

● IGCC

「Integrated coal Gasification Combined Cycle」の略。

従来の石炭火力発電よりも発電効率が高く、石炭を燃料とする発電方式の中ではCO2の排出量が最も少ない発電方式。

水砕スラグ製造設備



株価の推移

● 株価 (2014年9月30日終値)

531円

予想配当利回り

2.82%

PBR (2014.3)

0.57倍

出来高(株/月)
6,000,000



● 注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

● IRに関する問い合わせ先

ラサ商事株式会社 経営企画室

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目11番5号 RASA日本橋ビルディング
TEL : 03-3668-8232

URL : <http://www.rasaco.co.jp/> *「お問い合わせ」をクリックしてください。

第6部：関連用語集・資料

1. 資源・金属素材関連

用語	内容
ジルコンサンド	オーストラリア、南アフリカが2大生産地である天然鉱石。 「融点が高い」「比重が大きい」「硬い」などの特性を活用し、スマートフォンやタブレットPCのタッチパネルの素材、風力発電用の部品向けジルコン加工品の原料、半導体業界でのICチップの鏡面加工研磨材や、PDP(プラズマディスプレイパネル)の原料など産業界において幅広く使用されている。
金属シリコン	珪石(ケイ素《Si》と酸素《O2》が主原料)を電気炉で精錬し、酸化物を還元したもの。 自然エネルギーとしての太陽電池用シリコンウエハー原料、半導体シリコンウエハー原料、自動車用アルミ合金添加物などに使用されている。
ジルコニア	ジルコンサンドを電気炉で溶融し、酸化ジルコニウムを98%以上にした製品。 「融点が高い」「強度が大きい」「化学的に中性で安定している」などの特徴がある。 液晶やプラズマディスプレイガラスの溶融耐火材や、自動車や電車の車両のブレーキ材料、光学レンズ研磨材など幅広く使用されている。

2. 産機・建機関連

用語	内容
スラリーポンプ	固形物を含む液体の混濁液(スラリー液)を送るポンプ。
ワーマンポンプ	オーストラリアのワーマン社で開発されたポンプ。 液体の性状に合わせて接液部の材質をゴム、金属の組合せに変更できる高機能なポンプ。 磨耗性や腐食性のある液体や強酸・強アルカリスラリー液を送ることが出来る。 また磨耗した接液部を交換することで半永久的に使用することができるという特徴を持つ。 化学、排水処理、製鉄、非鉄金属、発電所、鉱業、精錬、製紙、窯業、食品、上下水道等多岐に渡る分野で使用されている。
ヒドロスタルポンプ	スイスのヒドロスタル社で開発されたポンプ。 もともとは水産業で魚を傷つけずにポンプ搬送することを目的に開発されたもので、 その特徴から壊れやすい固形物の非破壊流送や、長い繊維状のものを閉塞させることなく送液することができる。この特徴を生かして、下水処理場、し尿処理場を主として、 製紙(湿式不織布)、食品、化学等で幅広く使用されている。
シールド掘進機	地下鉄や下水道などのトンネルの掘削に使用される機械。 当社の建設機械における主力商品で、当社は下水管やケーブル管理設用の比較的小さな口径の製品をインフラ整備用に納入している。

3. 環境設備関連

用語	内容
水砕スラグ製造設備	製鉄所の高炉の付帯設備。 製鉄業界では「ラサ・システム」として世界的に知られている。 鉄製造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」を、セメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所においては不可欠な設備となっている。
IGCC	石炭ガス化複合発電。 「Integrated coal Gasification Combined Cycle」の略。 石炭をガス化して得られる高温ガスをガスタービン燃料として発電すると同時に、 石炭ガス化炉で得られる蒸気とガスタービンの排熱を回収して得られる蒸気を用いて 蒸気タービンでも発電を行う高効率の複合発電技術。 IGCCでは、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせることによって高い熱効率が 達成される。
IGFC	石炭ガス化燃料電池複合発電。 「Integrated coal Gasification Fuel Cell combined cycle」の略。 石炭をガス化して得られるガス化燃料を利用し、燃料電池、ガスタービン、 蒸気タービンの3種類の発電形態を組み合わせ、トリプル複合発電を行う 高効率発電技術。実現すれば55%以上の送電端効率が可能となり、既存の 微粉炭火力に比べてCO2排出量を約30%低減することが見込まれる。
CCT	クリーンコールテクノロジー 「Clean Coal Technology」の略。 石炭を燃やしたときに発生する二酸化炭素・硫黄酸化物・窒素酸化物などの 有害物質を減少させる技術。